

ウォッチガード、プラットフォーム戦略と AI 主導のイノベーションを加速させるため、 ヴィンセント・ファンをチーフプロダクトオフィサーに任命

フォーティネット、シスコ、ビットディフェンダーでリーダーを歴任し、サイバーセキュリティプラットフォームの拡大、
パートナー主導の成長の強化、そして業界をリードする製品コンセプトの構築など実績豊富

2026 年 9 月 11 日（金） - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／アイデンティティセキュリティ／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下ウォッチガード）は、Vincent Hwang（ヴィンセント・ファン）を、CEO の Joe Smolarski（ジョー・スモラルスキー）の直属となるチーフプロダクトオフィサー（CPO）に任命したことを発表しました。

ウォッチガードは現在、MSP における運用の簡素化、ツールの乱立の解消、そして大規模な環境でより強力なセキュリティを実現できるよう、プラットフォームと AI イノベーション戦略の強化に注力するといった重要な局面にあり、ファンがこのタイミングで同社に加わることになりました。ファンはクラウド、エンドポイント、ネットワーク、SecOps にわたる深い専門知識を有しており、ウォッチガードのプロダクトイノベーションにおける次の段階を主導していく予定であり、中堅企業市場にサービスを提供するパートナーにとって、エンタープライズグレードの保護ソリューションの導入、管理、収益化をより容易に実現できることにフォーカスします。また同時に、MSP がより効率的に運用／拡張できるように支援する AI を活用した機能の推進にも注力します。

ウォッチガードの CEO、Joe Smolarski（ジョー・スモラルスキー）は次のようにコメントしています。「ヴィンスは、サイバーセキュリティに関する深い専門知識と、製品戦略を実際の市場に落とし込む素質といった 2 つの能力に長けており、これは稀有な組み合わせだと言えます。彼は当社のパートナー企業を深く理解し、パートナーの業務形態に合わせたプラットフォームを構築するノウハウを持ち、イノベーションと実社会での成果を結びつけることで、一貫して成長を実現してきました。これこそが、ウォッチガードが次の成長段階において必要としているものです。」

ファンは、先見の明を持つサイバーセキュリティ製品担当エグゼクティブとして 20 年以上の経験を持ち、業界で最も影響力のある企業数社において、サイバーセキュリティ製品の構築と事業拡大を推進してきました。ウォッチガード入社前は Fortinet に在籍し、同社のクラウドセキュリティ事業を率いて、一貫して二桁成長を達成しました。

Fortinet 入社以前、ファンは Sourcefire および Cisco において、最新の脅威対策の推進に重要な役割を果たしました。そこでは、初期のエンドポイント検知／レスポンス（EDR）機能の開発に貢献し、Cisco の高度なマルウェア対策およびゼロトラスト戦略の策定を支援しました。それ以前では、Bitdefender で CPO を務め、プロダクトマネジメントやエンジニアリングを含む同社のグローバルプロダクト部門を率いていました。

ファンは以下のようにコメントしています。「ウォッチガードには、MSP とその顧客にとって、現代のサイバーセキュリティの在り方を定義するまたとない機会があります。市場は転換点を迎えており、パートナー各社はベンダーの統合を進め、進化し続ける脅威に対応しつつ、運用を簡素化するプラットフォームを求めています。私は、ウォッチガードの強固な基盤を土台として、運用効率と有意義なセキュリティの両方を実現する製品戦略を加速させていくことに大きな期待を寄せています。」

*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

【WatchGuard Technologies について】

ウォッチガードは、マネージドサービスプロバイダー（MSP）向けに設計された統合型サイバーセキュリティ分野におけるグローバルリーダーです。30 年以上にわたり、MSP が大規模なセキュリティ対策を提供する方法を確立し、脅威情勢のあらゆる大きな変化に先んじるべく、絶えず革新を続けてきました。AI を活用した「Unified Security Platform（R）」により、ゼロトラストに対応したネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ保護機能を単一の統合プラットフォームで提供し、複雑な運用の軽減、対策成果の向上、ビジネスの効率的な成長を可能にします。世界中で 150 万社以上の顧客を保護する 25,000 社以上の MSP に利用されており、パートナーが世界中の顧客に対して、強力かつ測定可能なセキュリティの成果を提供できるよう支援しています。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。

X：<https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook：<https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP：<https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel：03-5797-7205 Fax：03-5797-7207

Email：jpnsales@watchguard.com

URL：<https://www.watchguard.co.jp>